

佐賀建設新聞

発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel. 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,940円(税込)
毎週火・木・土曜日発行
日本専門新聞協会会員

ミラクルソルの普及促進へ 高崎市に製造工場設置

日本建設技術(株)グループ

研究成果発表会



挨拶する原裕社長

日本建設技術(株)（本社・唐津市北波多、原裕社長）グループは9日、唐津シーサイドホテルで2016年度研究成果発表会を開催した。関連5社の社員、

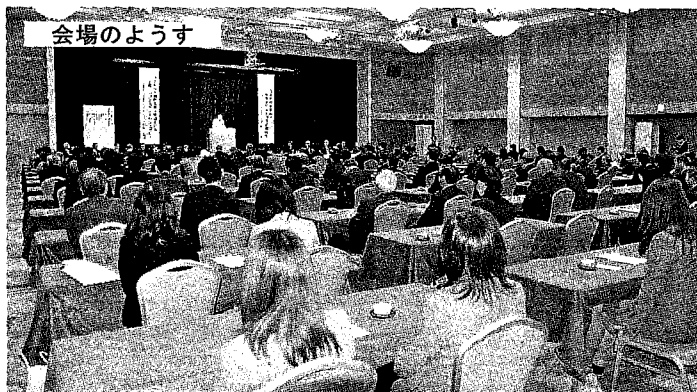
来賓など約170人が出席し、原社長が「2015年度のあゆみと東京オリンピックに向けて」の演題で発表。同社企画開発戦略本部技術研究所の松尾保成副所長が「ミラクルソル材料生産工場における生産アップとコストダウン」について話した。発表会は毎年開催しており、今回で13回目。

冒頭、原社長は「地方のローカルな会社が独自の技術や新製品を全国へ発信できる時代になっており、いろいろな業界に発信していくことが大切だと思ふ。経営戦略と技術戦略が競争力の原点であり、今後もそういった所で挑戦を続けていきたい。会社が一つにまとまることで大きな輪ができ、大きな力とな

って前進することができると挨拶した。成果発表では、企画開発戦略本部と総合情報技術事業本部の部長も務める原社長が15年度と同グループの活動内容を説明し、東京オリンピックに向けてミラクルソルを使った工法を国に対して提案していることを紹介。「群馬県高崎市にミラクルソルの製造工場を設置したので、関東以北へのミラクルソル工法の普及が進むと思ふ。いろいろな工法を提案し、いろいろな所で地球環境負荷の低減に貢献していきたい」と話した。

松尾副所長はミラクルソルの特長、工法などを解説した上で、ミラクルソルの生産アップとコストダウンに取組んだことを紹介。その中で「生産量をアップさせるため、焼成炉への原料投入量を増やし、安定した品質で生産量34%アップを達成できた。現在、焼成炉の改造などで、更に生産量を増やす研究を続けている。研究者として、独りよがりの技術でなく、社会に貢献できる技術の開発をやりたい」と語った。

最後に佐賀大学低平地沿岸海域研究センターの荒木宏之センター長が「個人の技術力向上と組織の強化は今後の会社の運命を分ける。資格取得や研究開発は組織に大きなメリットがある。今後重要になることは間違いない」と研究成果発表会の講評を行った。



会場の様子

このほか、功労者表彰や新入社員の紹介があり、会場を移して懇親会も行われた。